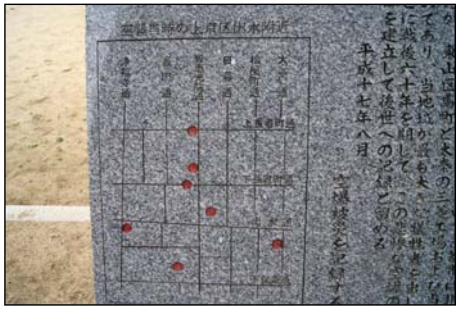
① 空爆被災を記録する碑



基本情報

所　　在：辰巳公園
住　　所：京都府京都市上京区智恵光院下長者町上ル西辰巳町１１６－３他
　　（ＪＲ・市営地下鉄 二条駅　徒歩２０分）
連 絡 先：磯﨑幸典　京都府京都市左京区上高野鷺町３　０９０－３２６４－１５６３
建 立 者：磯﨑幸典／空爆被災を記録する碑の建立委員会
建 立 年：平成１７年８月

碑　　文

空爆被災を記録する碑

昭和二十年（一九四五年）六月二十六日昼前、低い雲の上空に敵機Ｂ２９の爆音が近づき、突然に轟然たる爆発音とともにすさまじい土煙が上がった。この時の被爆は上長者町通より南は下立売通、東は大宮通、西は浄福寺通に至る方四百メートルの地域で、当時の報告には五十キロ爆弾七発とも五発とも言われた。

報道管制のため、その状況は、多くの市民の知るところとならなかったが、西陣警察署の記録によると、

一、死傷者　・即死　四十三人、　重傷　十三人、
　　軽傷　五十三人、　計　百九人。
二、被害家屋　・全壊　七十一戸、　半壊　八十四戸、
　　一部損壊　百三十七戸、　計　二百九十二戸。
三、罹災者　・八百五十人。

であった。ちなみにこの辰巳公園も被災地跡にできたものである。

第二次大戦（大東亜戦争）において京都市は非戦災都市と言われてきたが、東山区馬町と太秦の三菱工場および当地域が爆撃をうけたものであり、当地域が最も大きな犠牲者を出したのである。

ここに戦後六十年を期して、この悲惨な空爆の事実を伝えるためこの碑を建立して後世への記録と留める。

平成十七年八月
空爆被災を記録する碑の建立委員会

空襲当時の上京区出水付近
（地図）

② 霊山観音

基本情報

所　　在：霊山観音
住　　所：京都府京都市東山区高台寺下河原町５２６－２
　　（京阪電車 祇園四条駅　徒歩１５分、市営バス「東山安井」下車　徒歩５分）
連 絡 先：京都東山　霊山観音　０７５－５６１－２２０５
建 立 者：石川博資
建 立 年：昭和３０年６月８日

※一般戦災死没者を含む

経　　緯

四季変わりなく緑の滴たる洛東霊山の麓に平和日本の建設と殉国の英霊並びに大戦による犠牲者の冥福を祈念するために故石川博資氏によって建立されました。

慈顔溢るる麗しいこの観音像は彫刻界の元老、故山崎朝雲先生によって原型が作成され、更に関係者の献身的な努力によって昭和の代表的芸術として後世に偉跡を残す荘厳な尊像が出現したのであります。

出典：京都東山　霊山観音パンフレット

③ 春季・秋季慰霊大法要

開催概要（平成２３年度）

歳 事 名：春季・秋季慰霊法要　※一般戦災死没者を含む
会　　場：京都東山　霊山観音
　　（京阪電車 祇園四条駅　徒歩１５分、市営バス「東山安井」下車　徒歩５分）
日　　時：春季：平成２３年５月１８日（水）　※例年５月１８日開催
　　秋季：平成２３年１１月３日（木）　※例年１１月３日開催
参列者数：３０～５０人（秋季・秋季共）
連 絡 先：京都東山　霊山観音　０７５－５６１－２２０５

式 次 第（平成２３年度）

【春季慰霊法要】

1. 心 経 一 巻
2. 本 尊 回 向
3. 払　　子：丹羽師
4. 鼓　　鉢：二四三　一通
5. 開経偈三巻
6. 祭　　文：石川代表
7. 香　　語：大導師
8. 観 音 経
9. 回　　向
10. 鼓　　鉢：四二三　一通

【秋季慰霊法要】

1. 鼓　　鉢：二四三　一通
2. 開経偈三巻
3. 祭　　文：石川代表
4. 香　　語：大導師
5. 世 尊 偈
6. 焼　　香
7. 回　　向
8. 鼓　　鉢：四二三　一通

4 鎮魂碑

基本情報

所　　在：共楽公園山頂
住　　所：京都府舞鶴市余部上
　　（ＪＲ東舞鶴駅より　東西循環バス「中舞鶴」下車　徒歩２分）
連 絡 先：都合により記載せず
建 立 者：旧舞鶴海軍工廠殉職者鎮魂碑建立の会
建 立 年：昭和５３年３月

碑　　文

【表】

鎮魂碑
舞鶴市長　立道團造書

【裏】

施工者
（業者名）

説 明 文

碑の由来

明治三十四年舞鶴海軍工廠開廠以来の殉職者の御霊を祀った招魂碑が、共楽公園山上に建立されたのは大正八年のことであり爾来春秋の彼岸には盛大な招魂祭が営まれていた。　しかしながら、太平洋戦争も熾烈となるに及んで青銅製の碑は供出され、台座のみが往時をしのばせるにいたった。
戦争末期、舞鶴軍港もしばしば空襲を受けた。　中でも昭和二十年七月二十九日、工廠に投下されたただ一発の爆弾は、約百名の生命を一瞬のうちに奪い去った。　その中には紅顔の動員学徒男女十九名も含まれていた。
憶うだに痛恨の極みである。
被爆の真相がようやく明らかになるに及び有志相はかり初の空襲殉職者合同慰霊祭を雲門寺において営んだのは昭和五十二年七月二十九日のこと、その日期せずして鎮魂碑建立の願いが燃え上った。
かくして、かつての招魂碑復元の願いと空襲犠牲者ならびに工廠より内外に派遣され武運つたなく戦没された英霊の碑建立の願いと、これらを打って一丸とした殉職者鎮魂碑を、場所も旧工廠を俯瞰するゆかりの地に礎も固く建立することとした。
この旧舞鶴海軍工廠殉職者鎮魂碑にはご遺族や近親者、旧工廠関係者ならびに地元市民の平和への悲願がこめられている。
在天の御霊よ、どうか安らかにお眠りください。

昭和五十三年三月
旧舞鶴海軍工廠殉職者
鎮魂碑建立の会
西山鶴洞謹書

5 舞鶴空襲犠牲者合同慰霊祭

開催概要（平成２３年度）

歳 事 名：舞鶴空襲犠牲者合同慰霊祭
会　　場：共楽公園　鎮魂碑前／雲門寺
　　（ＪＲ東舞鶴駅より　東西循環バス「中舞鶴」下車　徒歩２分）
日　　時：平成２３年７月２９日（金）　※例年７月２９日開催
参列者数：３１人
連 絡 先：雲門寺　０７７３－６２－５３１３

式 次 第（平成２３年度）

1. 慰霊のことば：日立造船ユニバーサル造船退職者組織　会長
2. 読　　経：雲門寺住職
3. ご 焼 香：ご遺族、来賓、参列者
4. 遺族代表の挨拶
5. ご住職説法
6. 閉　　式

式　　辞（平成２３年度）

慰霊の言葉

６６年前の今日を想い謹んで口上申し上げます。
今より過ぐる１１２年前、舞鶴海軍工廠が開廠され、以来の殉職者を祀られたのは大正８年のことでした。
そして、さきの大戦では青銅製の碑は供出せられていました。１９４５年の本日、即ち６６年前の今日、いまの一時間半前に工廠も空爆を受け、勤労者はじめ全国の勤労学徒男女たちが、一瞬にして若い命を奪われてしまいました。
その爆弾は１万ポンド（４．５トン）の超大型であり、広島・長崎に投下された原爆と同じ形、重量の模擬原爆と後になって判明しました。思うに痛恨の極みであります。
目の前の鎮魂碑は昭和５３年に心ある方々の思いと努力で建立され、この建立に当たり、ＯＢ会員の全員が現役時代に組織、組合員であったこと、労働組合としても支援協力を微力ながらしてきたところです。
こうした先人の尊い犠牲の上に、今日の平和があり、世代や時代が変わっても多くの人々の「いま」があることを銘ずべきです。
ここに戦後６６年に当たり、空襲犠牲者ならびに当時工廠より内外に派遣され戦没された殉職者に対し、改めて深く哀悼の意を表明いたします。
只今の慰霊式にご参列くださいました全ての皆様方に厚くお礼申しあげます。
ありがとうございました。

平成２３年７月２９日
日立造船・ユニバーサル造船舞鶴　退職者組織（ＯＢ・満亀会）

6 城陽市戦没者追悼式

開催概要（平成２３年度）

歳　事　名：城陽市戦没者追悼式　※一般戦災死没者を含む
会　　場：文化パルク城陽　ふれあいホール
　　（近鉄電車 寺田駅　徒歩１０分）
日　　時：平成２３年１１月９日（水）　※例年１１月上旬開催
参列者数：２００人
連　絡　先：城陽市 福祉保健部 福祉課　０７７４－５６－４０３０（直通）

式　次　第（平成２３年度）

1. 開会の辞
2. 黙　と　う：一同起立
3. 式　　辞：城陽市長
4. 追悼の辞：京都府知事、城陽市議会議長、遺族代表
5. 献　　花：城陽市長、来賓、遺族
6. 閉会の辞

式　　辞（平成２３年度）

菊花薫る本日、多数のご遺族、並びにご来賓の皆様のご参列をいただき、城陽市戦没者追悼式を挙行するにあたり、市民を代表して式辞を申し上げます。

先の大戦において、その尊い命を捧げられました戦没者の御霊に思いを馳せますと、今なお胸に迫り、痛恨の極みでございます。

皆様は、愛する家族、愛するふるさとを守るために戦地におもむき、苛烈を極めた戦いの中で傷つき、倒れ、心ならずも帰らぬ人となられました。ここに謹んで、追悼の誠を捧げるものでございます。

また、ご遺族の皆様におかれましては、癒されることのない深い悲しみの中、言葉にしきれぬ苦難を乗り越え、今日までを歩んでこられたところであり、並々ならぬご苦労に改めてご慰労申し上げ、深く敬意を表します。

私たちは、今日の平和と繁栄が、この大きな犠牲の上に築かれたものであることを決して忘れてはなりません。

戦後六十六年が経過する中で、その思いは薄れつつあることも事実であり、今一度戦争の愚かさ、平和の尊さを再認識しなければならないと痛感しております。悲惨な戦争を二度と繰り返さないという決意をここに新たにし、後世までその誓いを永続させることが私共の使命であると強く感じているところでございます。

現在我が国は、戦後最大ともいえる国難に直面しています。未曽有の被害をもたらした東日本大震災は、今なお、日常生活や経済活動に大きな影響を与えています。復興への道程は遠く厳しいものがありますが、私は、戦後の焼け野原から奇跡的な復興を遂げた、日本国民の力と叡智を信じております。

本市におきましては、恒久平和と安全を願い、平和都市を宣言し、戦争の悲惨さ、平和の尊さ、命の大切さを後世に伝えていくとともに、今後とも市民の皆さまが安心して生活できる心豊かな社会を築いていくため、全力を尽くしてまいる所存でございます。

結びにあたりまして、ふるさと城陽の平和と繁栄を守り続けることの誓いを新たにいたしますとともに、戦没者の御霊の安らかならんこと、また、ご遺族の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げ式辞といたします。

平成二十三年十一月九日　　城陽市長　　橋本　昭男

7 平和祈念碑

基本情報

所　　在：ＪＲ長岡京駅 東口
住　　所：京都府長岡京市神足２－４－１
　　（ＪＲ長岡京駅 東口　徒歩１分）
連 絡 先：長岡京市 企画部 政策推進課　０７５－９５１－２１２１（代表）
建 立 者：長岡京市
建 立 年：平成元年７月１９日

碑　　文

【表】

平和祈念碑

【裏】

平成元年七月十九日
長岡京市長　五十棲辰男書

説 明 文

「平和祈念碑」建立及び「平和の日」制定について

「太平洋戦争末期の昭和二十年七月十九日午前十時半頃、長岡京市神足地区（当時は新神足村）は天王山方面から飛来した米軍艦載機の銃撃を受け一名の尊い犠牲者と数名の負傷者を出しました。
　また、同地区にあった日本輸送機株式会社の煙突もその被弾の跡が、大戦の傷跡を残したまま、四十有余年過酷な戦禍の記憶を市民に伝え続けてきました。しかし、老朽による倒壊のおそれが生じたため、昭和六十二年秋に基部のみを残して撤去されました。
　この「平和祈念碑」は、大戦の傷跡を残す煙突を五分の一の大きさに復元し、戦争の悲惨さを次の世代へと伝える証人として建立したものです。
　苛酷な戦禍の記憶は、平和を希求する原点であります。戦争という大きな犠牲の上に築かれた平和の尊さを、市民すべてがもう一度見直し、平和を後世に守り伝えなければなりません。
　二度とこのような悲劇を繰り返さないことを誓い、平和への願いをこめ、七月十九日を本市の「平和の日」と制定します。

8 平和祈念碑献花式（平和を考える市民フォーラム’11 第一部）

開催概要（平成２３年度）

歳 事 名：平和祈念碑献花式
会　　場：平和祈念碑　前
　　（ＪＲ長岡京駅 東口　徒歩１分）
日　　時：平成２３年７月１６日（土）　※例年７月１９日（市の定めた平和の日）に近い土曜日に開催
参列者数：８０人
連 絡 先：長岡京市 企画部 政策推進課　０７５－９５１－２１２１（代表）

式 次 第（平成２３年度）

1. 黙　　祷
2. 平和祈念碑への献花
3. 碑へ折り鶴を捧げる：神足保育所　児童
4. 式　　辞：長岡京市長

式　　辞（平成２３年度）

皆さん、おはようございます。
　本日は、早朝より、平和祈念碑への献花式にご参列をいただきまして、誠にありがとうございます。主催者を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。
　ただ今、献花をさせていただきました平和祈念碑は、皆様ご存知の通り、昭和２０年７月１９日の神足空襲の際に、銃撃を受けた煙突を５分の１の大きさに復元したものでございます。
　神足空襲は、乙訓地域唯一の空襲として、犠牲者１名、負傷者数名を出しました。戦争中とはいえ、当時の長岡京市は静かな農村であったと聞いております。そんな静けさを破って突然現れた米軍艦載機は、１６歳の少女の命を奪い、後に堪えがたい悲しみと恐怖とを残して去りました。
　その日から６６年が経過いたしました。この間、長岡京市におきましては、平成元年に、神足空襲のあった７月１９日を「平和の日」とし、この「平和祈念碑」を建立するとともに、「平和を考える市民フォーラム」を開催し、次の世代を担う子どもたちに戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える取り組みを行ってまいりました。
　過去の悲惨な出来事を二度と繰り返さないという強い想いの原点は、６６年前の悲しみに他なりません。
　改めて、戦争の犠牲となられた方々、そして神足空襲で犠牲となられた方のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、この街が、いつまでも平和でありますことを、祈念いたしまして、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。